

私は、現在3団体①体育協会顧問(副会長)で定年制により退会)②ソフトボーラー連盟副会長③南部地区リーグ(連盟の下部組織16チーム)の代表と役職について活動中です。会長職を引き受けけるに際し色々考えましたが我が子のため引き受けることを決断しました。この保護者会は今年で38年目を迎えております。会の発足には諸先輩の方々が大変ご苦労されたとお聞きしております。そのためにもこの会の継続と発展に努力しなければと考えております。当園の利用者の福祉向上と澄水園の事業発展に協力することです。

先ず、会議の内容を充実させる事で

長様に施設長様の文書での許可を得て、課長様を講師として課の仕事の内容を詳細に発表して頂きました。一課利用者(男女で重度、老齢者主体)の日常生活について支援員方々のご苦労が理解できました。二課＝女子主体で介護もありますので女子支援員方々も大変との事でした。自立支援課＝日中活動の利用者の支援、働ける利用者は園内作業・園外作業と作業所実習利用者が働いています。保健課＝日常業務の実施(血圧・体温他)、利用者の平均年齢59歳、60歳以上の50人が利用しています。老齢化が進んでいるため現在75名の内服薬を投薬しています。この

皆さんこんにちは。昨年5月から保護者会会長職を引き受けることになりました北田俊彦と申します。微力ではございますがどうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

障害者支援施設 澄水園
保護者会 会長 北田俊彦



ように保健課の仕事は、ますます重要になってきております。又、保健課管理栄養士!!利用者の日常食事管理、栄養等についてもお願いしました。受講された会員の皆さんのが今までの会とは違つてとても有意義とのことでした。この企画の目的は各課長様と直接対話ができるので良かったと思いました。講師の各課長様・管理栄養士様お忙しいところ本当にありがとうございました。

次に澄水園の25年度の事業計画について述べたいと思います。園の重要な項目として本年4月より「障がい者総合支援」が施行されました。地域社会との共生の実現に向けての障がい者施策として転換期を迎えており本人に寄添つた支援、利用者の人生は総合的に支えるサービスを提供し生活介護事業に充実拡大を図る。又、日常生活における本人を中心の「意志決定支援」が重要な課題になつてていくのでその対策が必要となつていくようです。園はこの対策に充分に検討していくことでしょう。

次に、澄水園行事が毎年計画されています
①夏祭り②クリスマス会③新年会④誕生会（毎月手作りのケーキで祝って頂き利用者は喜んでおります）。又、新たな企画として毎週水曜日喫茶タイムを設けました。コーヒーとお茶菓子を頂いております。利用者は毎週コーヒータイムを楽しみにしているようです。このような利用者が色々と喜びそんな企画を園と一緒に考えて行きたいと思います。

I 東京知的障害児・者入所施設
保護者会連絡協議会
代表幹事 白土一郎氏

【設立】平成12年4月
（A.I.U.保険に任意加入しています）
知的障害児者・自閉児者のため病気やケガの総合補償制度です。

去る六月二十八日、小平消防署主催『平成二十五年度自衛消防訓練審査会』に参加させていただきました。週二回の約一ヶ月間、梅雨の蒸し暑い雨の中、時に炎天下の中、皆様からのご指導と必死の練習の結果、黎明会史上初の男子隊、女子隊ダブル優勝という快挙を成し遂げること出来ました。

私自身、メンバーが決まった時点では、まずは怪我の無いよう配慮して取り組んでいこうと決意しました。初心者、経験者、経験はあるがブランクのあるといった六名、はじめましての挨拶からのスタートでした。そんな中でビデオを見ながら説明したのを思い出します。五月下旬より練習を開始し、ある程度の形を自分

平成25年度 自衛消防訓練審査会に参加して

快挙 男子隊・女子隊 優勝



障害者支援施設 澄水園

総括指導者 自立支援課長 香遠亨



さと想像以上の運動量、自分たちの仕事との両立、まさに厳しい練習の日々だったと思います。これは、実際にやってみないと分からぬ、理解されないことです。そんな自分自身との闘いの中、消防署、黎明会グラウンドでの練習を行いました。初めは、業務上なかなか六名全員が揃わない中で練習をする日もありましたが、各施設の協力もあり、徐々に全員で行えるようになりました。

私自身も含め、ちょうど中弛みになりかけた頃、株式会社ブリヂストンとの合同練習が始まり、彼らの練習を目の当たりにすると同時に顔つきが変わり、更なるやる気に火が点きました。勝つための良いパフォーマンスを見せることへの意識が、としての自覚を持つことを課題として取り組んでいこうと決意しました。

今年度も黎明会代表は、男子隊三名、女子隊二名、計六名が参加致しました。週二回の約一ヶ月間、梅雨の蒸し暑い雨の中、時に炎天下の中、皆様からのご指導と必死の練習の結果、黎明会史上初の男子隊、女子隊ダブル優勝という快挙を成し遂げること



【女子隊】 真剣な眼差し いざ放水！！

たちで作っていきましたが、小平消防署の安藤所長を始め、小川出張所署員の方々のまさにプロフェッショナルなご指導を受けて、彼らが日々成長して行くのを実感致しました。形を覚え、セリフを覚える、チームとして一つになる。それに加え、暑さと想像以上の運動量、自分たちの仕事との両立、まさに厳しい練習の日々だったと思います。これは、実際にやってみないと分からぬ、理解されないです。この経験を生かし、彼らが成長していくことを願っております。

これもひとえに、周りにいる多くの方々に支えられ、一人ひとりがお互いを信頼し、大切に思い合い、必ず勝つと決意し臨んだ結果だと感じています。この経験を生かし、彼らが成長していくことを願っております。

また、黎明会の防災対策としてご利用者の安全確保にさらに一步前進したことを確信しました。

ご協力、また応援して下さった皆様に、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

日本社会事業大学大学院

福祉マネジメント研究科を卒業して

介護老人保健施設 施設長 池島祐二

黎明会では、平成22年度から「派遣研修制度」が発足し、私はその第3期生として、指定法人推薦を受け日本社会事業大学大学院福祉マネジメント研究科にて1年間学ぶ機会をいただきました。今回この紙面をお借りして派遣研修報告をさせていただきます。

黎明会事業大学は、日本で最も歴史のある福祉専門職大学です。社会福祉事業が社会事業と呼ばれていた昭和21年に創設されました。厚生労働省の委託を受け設立した唯一の福祉専門機関でもあります。

専門職大学院は、社会福祉分野における高度で専門的な職業能力を有する人材の養成を目的とした日本で唯一の専門職大学院です。福祉マネジメント研究科には、アドバンスソーシャルワークコースは、福祉サービスが目的で、福祉ビジネスマネジメントコースがあります。

アドバンスソーシャルワークコースは、福祉サービスにおけるサービスは、福祉サービスのマネージャー養成

が目的です。前者の授業は清瀬校舎、後者の授業は茗荷谷校舎で行なわれます。

コースの選択は、院生に委ねられましたが、同期生40名のうちソーシャルマネジメントコースが20名、ビジネスマネジメントコースが20名。まるでヤングチームとアダルトチームのように年齢によって綺麗に分かれました。もちろん、私はアダルトチームです。

学位を得るには、1年間で、必修科目である演習と、実践系科目、基盤科目、コース科目群など32単位以上の修得が必要です。勤務先の特別な配慮がなければ1年間での単位修得は相当な困難をともないます。修了時の学位は福祉マネジメント修士です。

仕事を続けながら学びたい方のため、夜間や土日を中心に授業を選択し、2年間で計画的にカリキュラムが履修できる制度もあります。半数以上の院生がこの制度を利用していますが、2年間にわたりモチベーションを保つのに苦労しているようです。

実践系科目には「実践研究」と

「事例研究」があります。「実践研究」では、自らの実践フィールド（職場）における実践とその課題を研究的に総括し、課題解決の方針について、ゼミに所属する他のメンバーとの集団討論を通じて、その内容を深めています。

私の場合、平成23年度から、地域包括支援センターやきの郷を行なわれます。

これまでが、同期生40名のうちソーシャルマネジメントコースが20名、ビジネスマネジメントコースが20名。まるでヤングチームとアダルトチームのように年齢によって綺麗に分かれました。もちろん、私はアダルトチームです。

学位を得るには、1年間で、必修科目である演習と、実践系科目、基盤科目、コース科目群など32単位以上の修得が必要です。勤務先の特別な配慮がなければ1年間での単位修得は相当な困難をともないます。修了時の学位は福祉マネジメント修士です。

ビジネスマネジメント科目群の分野には、「ヒューマンリソースマネジメント」（組織における人間の行動科学、人的資源の管理と育成、ナレッジマネジメント等）、「アカウンティング・ファイナンス」（会計・財務）、「組織経営マネジメント」があります。

授業は予習が不可欠です。基礎的な参考書を最低でも一冊は読み込んで授業に参加すること（聴くではない）が要求されます。成績

発言内容）とリアクションペーパー、試験やレポートによって決まります。

そして、卒業に必要な単位を取得することで、福祉経営に関する基礎的な知識が身につくカリキュラムになっています。しかし卒業後、いざ施設長として経営の舵取りを任されると、やはり現実は相当に厳しいと痛感しています。

介護業界では、営利事業者の参入が増加し、競争が激しさを増しています。厳しい環境の中で、非営利である社会福祉法人は事業を継続・発展させていかなければなりません。営利事業者との競争に打ち勝つためには、営利事業者以上と議論することができたので、職場の組織では成し得ない客観的な解決方法が導き出せたと思います。これが専門職大学院ならではの学びです。

ビジネスマネジメント科目群の分野には、「ヒューマンリソースマネジメント」（組織における人間の行動科学、人的資源の管理と育成、ナレッジマネジメント等）、「アカウンティング・ファイナンス」（会計・財務）、「組織経営マネジメント」があります。

今、私の手もとに26年度の大学院案内が届いています。ページをめくると、茗荷谷校舎で田島誠一教授（日本老人福祉財團理事長）と私が対談している様子が載っています。今こうして振り返ると、なんだか遠い昔のことのように思えます。

第47回関東地区救護施設研究協議会

「これからのお護施設になるために」 求められる救護施設の役割

救護施設 黎明寮 栄養士 郡山智子

去る平成25年6月27日から28日まで、群馬県高崎市のホテルメトロポリタン高崎にて、第47回関東地区救護施設研究協議会が開催されました。

黎明寮からは、施設長の他に、私が含め2名の職員が参加させていただきました。

今回の研修会で私が学んだこと、感じたことについてご報告させていただきます。

第1日目

【中央情勢報告】 全国救護施設協議会 副会長 品川卓正 氏 ○救護施設の機能強化に向けての指針

全救協は、平成19年4月に「救護施設の機能強化に向けての指針」をとりまとめて以来、救護施設利用者および地域社会・住民等からの期待に応えられる救護施設を目指した取り組みを実践している。その中心は、社会のセーフティネットとして果たしてきた役割および、地域生活移行支援機能の

一層の強化である。

○救護施設が取り組む生活困窮者支援の行動指針

救護施設は施設利用者だけではなく、地域に暮らす生活困窮者への支援をも担っていくことが使命であり、そうした考え方を具体化し、取り組みを示したものが行動指針である。その必要性を理解し、全施設が取り組むことが重要である。

○東日本大震災への対応(平成24年度の全救協としての対応)

①福島県浪江ひまわり荘への支援
②JDF被災地障害者支援センターふくしまへの協力
③JDFいわて支援センターへの協力

○東日本大震災への今年度の対応 平成25年3月に、東日本大震災における各地区協議会の支援活動や被災地の東北地区における対応等について情報を整理した上で、今後の大規模災害の発生に備えた「全国救護施設協議会災害対応マニュアル」および、東日本大震災における支援活動の記録を作成

し、会員施設に配布している。マニュアルの内容を理解・活用し、大規模災害に備え、対策を講じること。また、災害時の支援活動に資する積立金を創設し、支援体制の充実を図る。

その他にも、制度改革の動き、生活保護をめぐる動向などの説明がありました。

【分科会】

第一分科会、第二分科会ABCの合計4つの分科会に分かれ、各テーマに沿って事例発表とグループ討議が行われました。

○第一分科会「救護施設が取り組む生活困窮者支援の行動指針」

○第二分科会「個別支援のあり方

A 精神障害者、ホームレス、触法行為者等への自立支援

B 地域移行支援の実践

C 健康管理・食事に関する支援

私は、第二分科会Cの「個別支援のあり方・健康管理・食事に関する支援」に意見発表者として参加させていただきました。日頃、私が栄養士という立場で、利用者さんと関わっている中から捉えて、最初に、黎明寮での食事対応の現状を説明し、続いて2名の利用者さんの事例を挙げて、黎明寮での食事に関する個別支援の内容を報告しました。

もう一つ、埼玉県の育心寮からの意見発表があり、その後のグループ討議を通じて感じた事は、ど

の施設も同様の問題で日々悩んでいたが、何が正解か、答えが出ないという中で試行錯誤しながら支援にあたっているという事でした。だからこそ職種を超えた職員同士が、情報を共有し、連携する事が一番大切な事であると改めて感じました。また、今回の意見発表にあたっての資料作りや事前準備を通して、日頃の自分の業務を振り返る良い機会となりました。当日は運営側として打ち合わせから参加させていただいた関係で、他施設の様々な職種の方達と情報交換する機会も多く、大変貴重な時間を過ごすことができました。

【特別講演】

「開け！未来の扉」

前橋育英高等学校 教頭・サッカー部監督 山田耕介氏

講師の先生は、学生時代はサッカー選手として活躍され、また、社会人となつてからは様々なサッカーアクションの委員長やU-18日本代表コートなど、豊富な指導歴を持つ方でした。サッカーを通しての体験談が中心でしたが、サッカーの事は全くわからない私は、大変興味深い内容でした。社会人として大切な心構えや、人生の色々な場面で背中を押してもらえるような言葉の数々を教えていただき、元気になる、勇気をいただける講演でした。

「祝日営業の試行を開始しました！」

介護老人保健施設 けやきの郷
通所リハビリテーション理学療法士

課長岡田昇

いやきの獣では定員四十名の元イケアを運営しておりますが、本年七月十五日の海の日より祝日営業の試行を開始いたしました。

十二月三十一日から翌一月三日までの年末年始期間を非営業日とさせて頂いておりましたが、自宅での入浴が困難でデイケアでの入浴をご希望なさっている皆様のニーズに応えること、近隣の事業所には祝日営業を実施しているところが多数あること等を鑑み今回の試行に踏み切りました。

「国民の祝日に関する法律の一部を改正する法律」により平成十二年に『成人の日』（一月十五日）と『体育の日』（十月十日）が各自一月と十月の第二月曜日に変更と

なり、次いで平成十五年に『海の日』(七月二十日)と『敬老の日』(九月十五日)が各自七月と九月の第三月曜日に変更となりました。祝日が日曜日と重なった場合の振替休日と合わせて月曜日が休日となる割合が増え、月曜日にデイケアをご利用の方々にとっては他の曜

日より休みが多くて心配をお掛けしていましたかと思います。

また他の事業所の祝日営業状況をみますと、平成二十四年度の情報では小平市内のデイサービス三十八事業所中二十七の事業所が祝日営業をおこなっています。デイケアでは当施設を含め市内四事業所中の二事業所、近隣老健三施設中二施設のデイケアが祝日営業を既におこなっている状況です。

これらのことを考えますと祝日営業の開始はむしろ遅すぎたとも言えます。営業日数が増えますのでスタッフのローテーションの問題はありますが、十二月までの試行期間中に問題解決を図り本実施となる新年を迎えるといまます。

地域で暮らす高齢者の皆様の生活を支える一助となるよう、職員一同これまで以上に精進するつもりでおりますので、今後とも何かの郷デイケアをお引き立てくださいますようお願い申し上げます。

日より休みが多くてこ迷惑をお掛けしていたかと思ひます。

また他の事業所の祝日営業状況をみますと、平成二十四年度の情報では小平市内のデイサービス三十八事業所中二十七の事業所が祝日営業をおこなっています。デイケアでは当施設を含め市内四事業所中の二事業所、近隣老健三施設中二施設のデイケアが祝日営業を既におこなっている状況です。

これらのことを考えますと祝日営業の開始はむしろ遅すぎたとも言えます。営業日数が増えますのでスタッフのローテーションの問題はありますが、十二月までの試行期間中に問題解決を図り本実施となる新年を迎えるといま

たい：でも何をしたいのか自問自答しても答えは出ないまでしました。そんな頃、小平に引越しになりました。世の中にご恩返しを：の思ひは一時保留になりました。

小平の空氣に少し慣れ、緑の中を気持ちよくウォーキングしていました。老人ホームが目に入つてきました。そして、そのまま突入！ 1軒目は私が会釈しても職員の方が直ぐ出て来て下さらなかつたので、そのまま会釈して失礼してきました。後日、2軒目の飛び込み朝10時。大手のそのホームは、働いていらっしゃる方々の汗まみれの今までの出で立ち、清潔感の無いスタイルにビックリ。簡単にお話を伺つて帰つてきちゃいました。数日後、黎明会さんの敷地を外からグルーピーと一周しました。ここ何？なにか、良い感じ。そうして中も通過（勝手に侵入しました。申し訳ありません）。穏やかな空氣。人の挨拶する声。心地よい響き。また時間を作つて出直そう。いよいよ3軒目訪問。受付の方々、課長、4階担当のリーダー、

皆さん素晴らしい方々で微力ながら私もお手伝いさせていただきました。いよいよ、何か出来る事は無いかを考えながら、自分自身も人生を楽しみ、天国へは自分の足で歩いて行きたいなと思っています。これからもよろしくお願ひいたします。

特別養護老人ホーム やすらぎの園

傾聴ボランティア
志賀紀子

第23回全国介護老人保健施設大会

「奨励賞を受賞して」

介護老人保健施設 けやきの郷

介護職員 山形宣貴



去る平成24年10月3日から5日にかけて第23回全国老人保健施設大会が沖縄にて開催されました。沖縄には全国から発表者だけで1400人、関係者を合わせると4100人という中での発表、緊張しないわけはありません(実際に私が発表した会場には、50人ぐらいたしかいませんでしたが…。人間には、二種類の人間しかいないと思います。「緊張する人間」「緊張しない人間」の二種類。どうやら、私は前者の人間だったようです)。

発表当日は、かなり緊張して頭の中が真っ白になり100%の力が出せず、悔しかったのを忘れません。物凄く緊張した中で、たった約7分の発表ですが、発表当日までは様々な人の協力を得て完成した事例です。

発表当日は、かなり緊張して頭の中が真っ白になり100%の力が出せず、悔しかったのを忘れません。物凄く緊張した中で、たった約7分の発表ですが、発表当日までは様々な人の協力を得て完成した事例です。

まず、対象者とさせて頂いたM氏。豊田課長・岡田課長を始めに職員のみなさん。みなさんの協力のおかげで、頂いた奨励賞だと思います。

「南台病院からのお知らせ
CT新機種導入しました



南台病院では、全身コンピュータ断層撮影装置CTを7月に新機種に更新しました。撮影機構部がコンパクトになり撮影時の圧迫感を和らげ、撮影時の細やかな位置決めを不要にして、患者様の負担軽減を図り、高齢者をはじめとする撮影条件の厳しい患者様にも最適化したものとなりました。撮影時間の被曝量も低減して、一度の検査で様々な角度から高精細かつスピーディーな広範囲撮影を可能にする優れた新機能も有しています。画像処理も、高速実用性を備え、その場で高精細三次元解析画像を構築できます。当院での診断はもとより、他院からの撮影依頼にも対応しておりますのでどうぞご利用下さい。(放射線科長 町田)



佐々木理事長、松田常務を囲んで

第8回のぞみ作業所作品展を終えて
施設長 古藤幹男

作品展を、7月11日から16日まで、小川駅近くの、NMCギャラリー様の、初回からのご厚意で開催しました。NMCギャラリー様は、福祉事業への支援を行ってこられ、私共に、ギャラリーの使用以外にも多岐にわたり支援頂いています。地域で場所を提供頂くことは、作品展を手伝う利用者の方々にとって新鮮な環境として喜ばれています。今後、作品展をより価値的なものにしたいと思います。

なお、初日には、佐々木理事長、松田常務がお見えになりました。松田常務がお見えになりました。



お知らせ

◆平成25年度第1回 理事運営懇談会

平成25年8月28日(水) 12時半からアルカディア市ヶ谷において、平成25年度第1回理事運営懇談会を開催致しました。会は理事長の挨拶で始まり、会の運営について活発な意見交換を行いました。

(畠山)

施設リポート

黎明寮

救護施設黎明寮では、去る7月4日から一泊で群馬サファリパークと軽井沢の旅に出かけました。

ご利用者15名と付添職員・ボランティア8名で、一日目のサファリパークではすぐ目の前で動物を見た後、昼食では自分たちで肉や野菜を焼きバーベキューを楽しみました。二日目はあいにくの空模様でしたが、旧軽井沢を散策し定番の峠の釜めしを食べ、たくさんお土産とともに大満足で帰途に着きました。

(齋藤)

▲あかつき

去る八月十六日に「偲ぶ会・盆踊り」を開催しました。昨年から先月まで亡くなられたご利用者の方々を偲び、夏の一日を過ごす恒例の行事です。

午前中は皆で集い、亡くなられた方々の思い出を語り合いました。献花をした後、皆で故人に届けとばかりに「花は咲く」や「上を向いて歩こう」などを歌いました。

午後は趣向を変え、地域の紫陽花の皆様にもご協力いただきながら、盆踊りをしました。今年は例年以上に沢山の利用者の方が、参加してくださり、会場は熱気に包まれました。

(佐藤真紀)

▲やすらぎの園納涼祭

去る8月3日(土) 夕方、毎年恒例やすらぎの園納涼祭を3階フロア・テラスを会場として開催しました。

まず始めに祭りの気分を出す為に、ご利用者とスタッフの共同制作の手作りお神輿がフロアでご利用者の間を祭囃子を背に「セイヤ!!セイヤ!!」の掛け声とともに練り歩き、ご利用者からも「ワッショイ!!ワッショイ!!」との声援が上がりました。そうしているうちにフロア内に何やらよい香りが?焼きそば、お好み焼きが鉄板で焼けるのを見て、そして味わって頂きました。盆踊りではボランティアさんの踊りの輪の中に、浴衣に着替えたスタッフやハッピ姿のご利用者も加わり『花笠音頭』とリクエストがありました。輪の中は恥ずかしそうな方、満面の笑

みの方、皆それぞれでした。盆踊りに付きものの太鼓では、ご利用者が次々と入れ替わり叩いていました。その中でも圧巻は、やすらぎの園最高齢104歳を迎える女性ご

利用者の太鼓を叩く真剣な眼差しがとても印象的でした。

テラスでは金魚すくいやヨーヨー

ーすくいなど、フロアではゲーム大会やすいか割りなど、夏の夕暮れのひとときをご利用者、スタッフ共々過ごすことができました。ご利用者からは「久しぶりに良い時間を過ごせたわ。」「今夜は眠れそうにないわ。」等の感想がありました。

(嶋岡)



♪盛り上がった盆踊り♪

▲ゆとりあビアバー

去る8月5日、熱海の花火大会とともにビアバーを開催しました。

今年の見どころは、大太鼓、小太鼓の演奏。昔懐かしいチンドン屋のサックスの音色。

入居メンバーと一緒に踊った東京音頭・炭坑節。フラダンスの会と子供たちのフラダンス「かわいい!」の入居メンバーからの声もあがっていました。職員が1ヶ月前から練習を重ねて力強く踊ったソウラン節。屋台のやきそば、とても美味しく頂きました。今年は猛暑続きで大変でしたが心に残るひととなりました。

(植手)

フラダンスの会
かわいらしい衣装とともに

編集後記

今年は、世界中で異常気象が発生しております。竜巻、火の噴火、ゲリラ豪雨等、被害に遭った方は少なくないと思ひます。これも人間が創りあげた豊ましかさが自然を怒らせているのもそれませんね。備えあれば憂いなし。今や他人ごととは思えません。いざというときの対処法をきちんと勉強したいと思います。

(N.O.)

